

毎日新聞 2010年5月18日(火)

< 障害者支援団体 投票環境改善を >

障害者支援に取り組む札幌市東区のNPO法人「ホップ障害者地域生活支援センター」(竹田保・代表理事)は17日、夏の参院選に向けて障害者や高齢者の投票環境の改善を求める要望書を原口一博総務相に提出した。

要望書では

車いす使用者や視覚障害者に対する投票所に行くための移動支援

投票所のバリアフリー化

演説会や政見放送の手話・文字通訳

点訳した選挙公報の導入

などを求めている。

自身も筋肉が次第に衰える筋ジストロフィーを患う竹田代表理事(49)は「投票に行きたくても、思うようにならない人がいる。投票しやすいよう制度整備を進めてほしい」と訴えている。

【岸川弘明】